
思索

蝸 -ひぐらし-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
思索

【Nコード】
N8712J

【作者名】
蛸 一ひぐらし

【あらすじ】
『ひぐらし祭・滯尽し』の圭一の一言をきっかけに梨花が思索する。

後半部分はテキストになってしまいました（汗

(前書き)

本作を放り出しての短編です。

授業中に、

制作20分＋検討5分で作りましたf ^ _ ^ ;

ルビがそこそこあります。ケータイ閲覧でどこに振られているか、わからなかったらムシしてくださいませ。

“圭一を許しましょう”

……それは、圭一が覚えているはずのない、台詞。ことば

確かに昔、私が圭一に言った。だが、別の平行世界カケラでの話。

その世界で、圭一は自分の罪に気付いた。カケラそしてそれは、皆の理解を超えている出来事だった……。

別の世界で犯した罪だったから。ええと、「鬼隠し」って言ったっけ、圭一が罪を犯した世界は。

私は圭一に近寄った。初めは慰め頭を撫でに来たらしいと思っていたようだった。でも、私はそんなことはしない。

自分で自分の罪に気付いた人に、全てを知っている私ができること

――
圭一を許すこと。

だから、私は言った。「圭一、あなたを許しましょう」と。

その世界では犠牲者を出さずに済んだわね。カケラそれでも、カベは超えられなかった。けれども、そのおかげで頑張る気になったわ。

さて、そこまでは私の、これまでの出来事を書いただけ。私にとつて、驚いたのはさっき私に言った圭一の台詞。ことは

「梨花ちゃんが前に、圭一を許しましうって言っただろ？ そのおかげで俺、謝らうって言う気になったんだぜ」

……前に？ 他のカケラ 他世界のことを覚えてる？

圭一の言う「前に」とは、「罪滅し」のカケラでのことだろう。さっき書いた、話は「罪滅し」の話。その世界では、いいところまで行ったんだから、この世界なら乗り越えられるかもしれない。

ならば、時を見て全てを話そう。そして今度こそ、乗り越えよう――

出口なき、惨劇の迷宮を――

(後書き)

お読み下さり、ありがとうございますm (m

…どうでした？

自分的には良くはないとおもいますが……

ご感想、ご意見などお待ちしております☆

本作（『メテオとその後』）もしっかりと更新して行きますので、
よろしく願います！

なお、後書きに次話更新日を予告しております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8712j/>

思索

2010年10月22日00時33分発行